



石巻広域クラブ通信 <No.79>

THE Y'S MEN'S CLUBS OF GREATER ISHINOMAKI
CHARTERED MAY 28, 2016

YMCA-ISHINOMAKI-CENTER
KyuEikoyochienchinai2-12-3, Okaidokita,
Ishinomaki, 986-0854, Japan

〒986-0854 石巻市大街道北 2-12-3
旧栄光幼稚園 2階 YMCA 石巻センター
電話 090-6252-7970(日野)090-2365-7940 (清水)

2023年3月号

E-mail: gishinomaki@gmail.com

E-mail: koichi1839@outlook.jp

== 2022-2023年度 主題 ==

クラブ会長 青木満里恵 「感謝を胸に、連携し、活動を上げよう！」
北東部部長 大久保知宏(宇都宮) 「クラブのミッションを育てよう」
東日本区理事 「未来に向けて今すぐ行動しよう」
アジア太平洋地域会長 シェン・チ・ミン(台湾) 「新しい時代とともに、エレガントに変化を」
国際会長 K・C・サミュエル(インド) 「フェロシッパとインパクトで次の100年へ」

<今月の聖句>

「わたしは、あなたたちのために立てた計画をよく心に留めている、と主は言われる。それは平和の計画であって、災いの計画ではない。将来と希望を与えるものである」：エレミヤ書 29：11

<強調月間> CS・Green Project・ワイズメネット

3月第一例会プログラム

日時 3月24日(金) 18:30~20:30

場所 YMCA 石巻センター

月当番 千葉徳正・斎藤 勉

司会 清水 弘一

1. 開会点鐘 クラブ会長 青木満里恵
2. ワイズソング 一同
3. ゲスト紹介 川上 直哉
4. 会長あいさつ 青木満里恵
5. 聖句朗読・食前感謝 関川祐一郎
6. 食事と懇談 一同
7. ゲストスピーチ (プロフィールは4頁を参照)

雄勝町の雄勝地区を考える会

事務局長 阿部 晃成 様

テーマ：「雄勝町の復興と今後の展望」

8. 諸報告とアピール (1) YMCA 報告 (2) 3.11 追悼礼拝と感謝の会 (3) 3.11 みんなの文庫の会 (4) 仙台 YMCA 総主事退任式・就任式 (5) その他

9. ハッピーバースデー

3/2 青木まりえ 3/8 阿部春一 3/12 小笠原均

3/20 阿部かよ子 3/30 木村麻呼

10. ニコニコ 「トルコ・シリア大震災への募金」 会計

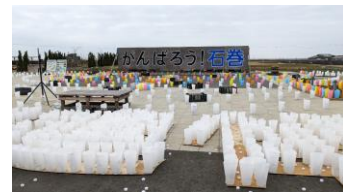
11. 閉会あいさつと点鐘 会長 青木まりえ

東日本大震災から12年

3.11 追悼礼拝と感謝の会礼拝

石巻広域クラブ会長 青木まりえ

東日本大震災から12年、被災地は12年前の雪交じりの天候とは変わって春の陽光の下、各地で様々な形で追悼の時を持ちました。(↓門脇地区) 石巻広域クラブでは、仙台 YMCA、4ワイズ連絡会議 東日本区、東北ヘルプとの共催で、発生時刻の14時



46分の市防災行政無線サイレンに合わせて石巻栄光教会礼拝堂で「3.11 追悼礼拝と感謝の会」が行われました。会場には神戸や所沢など全国のワイズ・YMCA 関係者、オンラインも含めて約40名のご参加をいただきました。

感謝の会では全国の皆さまに、12年間の支援に対して感謝とお礼のご挨拶を申し上げます。特別プログラムとして、クラブのCS事業「3.11 みんなの文庫の会」の皆さんによる「未来へのメッセージ」として福島原発事故を題材とした絵本2冊の読み聞かせがありました。

(詳細は3.11 追悼礼拝と感謝の会報告をご覧ください。)

2月データ / 3月号内容 / 会長巻頭言、2月第一例会報告、YMCA 報告、トルコ・シリア大地震緊急募金のお願い、3.11 追悼礼拝と感謝の会報告、東日本大震災から12年(石田)、3.11 みんなの文庫、第26回東日本大会(甲府)案内、4月第一例会案内など

会長 青木 満里恵
副会長 石川 光晴
" 姉齒 一紀
書記 清水 弘一
会計 櫻井 美智江
直前会長 日野 峻
担当主事 斎藤 勉

例会出席	12名	在籍会員数	21名	各種記録	月実績	年度累計
メンバー	9名	月間出席者	9名	スマイル	6,318円	44,278円
ビジター・メネ	0名	メーカーキャップ	2名	ファンド	0円	25,200円
ゲスト・コメ	3名	月間出席率	52%	BF	0円	0円

2月第一例会報告

日時 2023年2月24日(金) 18:30~20:30

場所 YMCA 石巻センター

出席者 阿部かよ子、石川光晴、大林健太郎、川上直哉、
斎藤勉、清水弘一、千葉徳正、千葉直美、日野峻、
(Z)、ゲスト:伊勢みゆきさん(ゲストスピーカー)、
長沼利枝さん・郷内宣子さん(3.11 みんなの文庫の
会)

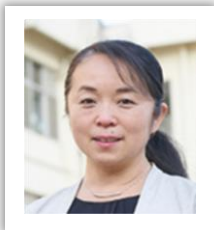
1. 開会点鐘 会長代行 石川 光晴
2. ワイズソング 一 同
3. ゲスト・ビジター紹介 書 記
4. 会長あいさつ 会長代行 石川 光晴
5. 聖句朗読・食前感謝 川上直哉
6. 食事・懇談 一 同
7. ゲストスピーチ

まなびのたねネットワーク

代表理事 伊勢みゆきさん

テーマ:「今の高校生、若者に関わって」

<伊勢みゆきさんプロフィール>



1994年 宮城学院女子短期大学国際文化学科卒業後、営業職、児童英会話講師などを経て、2008年より現職。26歳で内閣府世界青年の船事業に参加し、外国青年の一言で日本の学校教育に疑問をもつように。その後、キャリア教育と出会い、ファシリテーター、コーディネーターとして仙台市内小学校の授業に携わる。東日本大震災を機に宮城県沿岸部にも活動の幅が広がる。学校教育を軸とした教育活動や教育に関わる大人の人材育成などを通して、子どもを真ん中にした笑顔が広がる社会づくりを目指している。

2008年文部科学省キャリア教育文部科学大臣表彰
2017年~現在 石巻市立桜坂高等学校就職支援員
/キャリア教育コーディネーター

8. 諸報告とアピール (1) YMCA 報告 (2) 4クラブ新年合同例会報告 (3) 第3回東西交流会 (4) 3.11 みんなの文庫の会 (5) YMCA ストレッチヨガ (6) 飛田晋秀写真展 (7) 3.11 追悼礼拝と感謝の会 (8) ピンクシャツデーのアピール (9) その他

9. ハッピーバースデー

2/11: 姉齒一紀さん、2/15: 日野峻さん

10. ニコニコ 6,318円 会計

11. 閉会あいさつと点鐘 直前会長 日野 峻

▼2月例会報告

副書記 川上直哉

2023年2月24日、例会が行われました。この日は「しゅろハウス」を主宰する伊勢みゆきさんがゲストスピーカーとして参加くださいました。

「しゅろハウス」は、「高校生、若者が主役のサードプレイス」として知られています。「サードプレイス」というのは、「家庭」と「学校や職場」を「ファーストプレイス」「セカンドプレイス」と位置付けたうえで、「そのどちらでもない、もう一つの居場所」を指す言葉です。義務教育が終わった後、家にも学校にも居場所がない、という子どもたちが多くいます。石巻の場合(例えば仙台とは異なり)そうした子どもたちが集う場所がとても少ないのです。その現実に向き合って、伊勢さんが2022年5月に始めたのが「しゅろハウス」でした。

「しゅろハウス」では、「一緒に夕食を作り、一緒に食べ、一緒に片づける」という事が、「月曜・水曜・金曜」に行われています。食卓を囲んで生まれる人間関係は、集う人の心をほぐします。そうしていつしか、誰にも語ってこなかった「本当の苦しさ」を語りあう場となって行く。そういう実践の報告を、伊勢さんはしてくださいました。

伊勢さんは仙台広瀬川クラブのチャーターメンバーであった伊勢文夫さんのご愛娘さんでした。すぐにワイズのことを理解してくださり、良い交流のときとなりました。すぐ、北海道の十勝クラブからの支援「じゃがいも」が届いてきました。「みんなで一緒に料理します」と、喜んでくださいました。



写真↓: YMCA が推進する「ピンクシャツデー」に連帯してのアピールを参加者全員で行いました。



3月拡大役員会報告

日時 2023年3月10日(金) 18:30~20:30

場所 YMCA 石巻センター

出席者 青木満里恵、川上直哉、大林健太郎、清水弘一

1. 開会点鐘 青木会長
2. ワイズソング 一同
3. 会長あいさつ 青木会長
4. 軽食

5. 報告事項

(1) 2月クラブ第一例会報告

日時 2023年2月24日(金) 18:30~20:30

会場 YMCA 石巻センター

出席者 阿部かよ子、石川、大林、川上、斎藤、清水、千葉徳正、千葉直美、日野峻(Z)
ゲストスピーカー:伊勢みゆきさん(まなびのたねネットワーク・代表理事)、郷内宣子さん(3.11 みんなの文庫の会)

その他 ①ピンクシャツデーのアピール ②ニコニコ6,318円

(2) 2022年度仙台YMCA全体研修会について

日時 2023年2月11日(祝・土) 午前9時30分~午後4時30分

場所 仙台YMCA立町会館(メイン会場;4Fホール)

参加者 青木会長・川上(午前中)、清水

(3) 東京YMCA石巻物産展支援協力について

日時 2023年3月4日(土)・5日(日)

場所 ①山手センター(2月23日・祝) ②東陽町センター(3月4・5日)

その他 商品発送2月18日(くじらのしっぽ、田伝むし、いしかわ、ベテルの風、4社分)

(4) 北海道部・十勝クラブ訪問

日時 2023年2月19日(日)~21日(火)

場所 十勝クラブ2月例会訪問(東日本大震災支援への感謝伝達)

参加者 仙台YMCA村井総主事、清水

(5) 3.11 みんなの文庫の開催について

日時 2023年3月4日(土) 13:30~15:30

場所 YMCA 石巻センター

内容 読み聞かせ絵本(①ぼくはいろいろ知っているよ②ふくしまからきた子③ふくしまからきた子 そつぎょう) 紙工作:紙箱づくり

(6) 次年度クラブ会長・部役員研修会報告

日時 2023年3月4日(土)~5日(日)

場所 YMCA 東山荘(御殿場市)

出席者 青木次期会長

6. 協議事項 議長 青木会長

(1) 「3.11 追悼礼拝と感謝の会」について

日時 2023年3月11日(土) 14:30~15:45
礼拝:14:30~15:15 感謝の会:15:20~15:45

場所 石巻栄光教会礼拝堂

参加者 礼拝堂約20名(神戸ポートクラブ5名)、オンライン約10名

(2) 神戸ポートクラブとのDBC交流会の開催について

日時 2023年3月11日(土) 18時~20時

場所 古民家「喜八櫓きた道」0225-24-9869

出席者 神戸ポートクラブ:山田滋己、藤原章二、原伸行、園田将人、幸田兵衛 石巻広域クラブ:青木まりえ、大林健太郎、川上直哉、清水弘一

(3) 3月第一例会の開催について

日時 2023年3月24日(金) 18:30~20:30

場所 石巻センター

内容 ゲストスピーカー 雄勝地区を考える会 阿部 晃成(あべ・あきなり)氏

テーマ 「雄勝町の復興と今後の展望」につて

(4) 2023-2024年度会長・役員を選出について

会長 青木 満里恵

副会長 関川 祐一郎・姉齒 一紀

書記 川上 直哉・副書記 清水 弘一

会計 櫻井 美智江・副会計 千葉 直美

(5) トルコ・シリア大地震緊急募金について

期間 2023年3月1日~3月25日

場所 3月第一例会席上献金とLINEでの呼びかけ

目標 100万円(東日本区)

(6) 仙台YMCA総主事退任・就任式について

日時 2023年3月19日(日) 礼拝:15:45~

式典:17:15~

場所 礼拝:仙台東一番丁教会 式典:ホテルメトロポリタン仙台

(7) 石巻と神戸を繋ぐチャリティーコンサートについて(2023年4月22日・土/14~16時)

日時 2023年4月22日(土) 14時~16時

場所 神戸聖愛教会

プログラム:別紙参照

参加者 大林メン・メネット、川上、千葉直美、清水

その他 ①石巻物産品・絵本の販売について②交通費の一部補助支給について

(8) 4月第一例会について

日時 2023年4月28日(金) 18:30~20:30

場所 YMCA 石巻センター

その他 ゲストスピーカーの候補者:亀山貴一氏

(9) その他

・会員動向について

・3月号クラブブリテン投稿のお願い

・その他

7. 閉会あいさつと点鐘 青木会長

■ 今後のクラブスケジュール（4月～6月）

YMCA ストレッチヨガ	4月5日(水)	新蛇田集会所
4月クラブ拡大役員会	4月14日(水)	石巻センター
春の東北・キリシタンツア	4/15～4/16(日)	仙台東口集合～
テラーアンダーソン来石	4月16日(日)	津波伝承館 13時
石巻～神戸をつなぐチャリティコンサート	4月22日(土)	神戸聖愛教会
4月クラブ第一例会	4月28日(金)	石巻センター
春の東北・キリシタンツア	5/5(金)～5/6(土)	仙台東口集合～
5月クラブ拡大役員会	5月12日(金)	石巻センター
5月クラブ第一例会	5月26日(金)	〃
3.11 みんなの文庫の会	5月27日(土)	〃
春の東北・キリシタンツア	5/29～5/30(火)	仙台東口集合～
第26回東日本区大会	6/3(土)～6/4(日)	APIO 甲府
6月拡大役員会	6月9日(金)	石巻センター
6月第一例会	6月23日(金)	〃
仙台 YMCA 会員大会	6月24日(土)	仙台 YMCA

■ 3月ゲストスピーカー・プロフィール

阿部 晃成 様

(あべ あきなり)

1988年、石巻市雄勝町生まれ、34歳。

現在、宮城大学講師
雄勝町の雄勝地区を考
える会事務局長。

高台移転の問題を中心
に、住民活動を行っている。



トルコ・シリア大地震緊急支援募金



2023年2月28日

ワイズメンズクラブ国際協会

東日本区理事 佐藤重良

トルコ・シリア大地震緊急支援募金

東日本区は100万円を募金目標に3月25日まで募金を実施いたします！

2月6日、トルコ南部のシリア国境近くで発生したマグニチュード7.8の地震とその後の大きな地震で、これまでに4万人以上が亡くなるなど、甚大な被害がでています。東日本区では、これについての日本YMCA同盟の募金(*)に賛同、協力し、目標を100万円として、3月30日まで「トルコ・シリア大地震緊急支援募金」を実施いたします。ご協力いただけるクラブ、個人の皆さまは、以下の東日本区の口座に任意の金額をお振込みください。東日本区事務所がまとめて日本YMCA同盟に送り、同盟から現地7カ所で活動中のACT Alliance(**)を通じて支援します。募金は、現地生活物資支援、食料支援、建物調査、政策提言等に用いられます。皆さまのご支援、ご協力をお願いします。

*日本YMCA同盟のトルコ・シリア大地震・緊急支援募金についてのウェブサイト

<https://www.ymcajapan.org/topics/20230222-2/>



YMCA 報告



担当主事 斎藤 勉

(1) ボランティア感謝会

3月12日(日)に、YMCA立町会館にてボランティア感謝会を開催いたしました。当日は菅野会長はじめ役員のみなさん、ボランティアリーダー、スタッフ合わせ40名の方々がご参加下さいました。日頃YMCAの活動を支えてくれるボランティアに感謝をし、今後の活躍にも期待したいと願っています。

(2) 総主事退任・就任礼拝及び退任・就任式祝会

3月19日(日)午後から仙台東一番丁教会にて礼拝を行い、ホテルメトロポリタン仙台3F曙の間にて祝会を滞りなく行うことが出来ました。約90名の方々にご参加いただきました。遠方からのご出席もあり、ご参加いただいた皆様に感謝申し上げます。(↓左より瀬谷牧師、加藤・光永・村井総主事)



(3) 春プロスタート

3月25日(土)から集中水泳を皮切りに、4月7日(金)まで春のプログラムが行われます。まだまだコロナの終息は見られませんが安全にプログラムを進めてまいります。

■ 3・11 追悼礼拝と感謝の会報告

2023年3月11日午後2時半から、YMCA石巻センターがある日本基督教団石巻栄光教会の礼拝堂内で、「3.11追悼礼拝と感謝の会」を開催しました。会場には30名ほどが集まり、インターネットで配信をしました。東京YMCAの方々をはじめ、多くの方が参加してくださいました（Facebookの配信については、再生回数が460回を超えています）。

礼拝は、齋藤篤先生（仙台青葉城クラブ・日本基督教団仙台宮城野教会）が説教を、金指崇先生（日本大学准教授）奏楽を、それぞれ担当くださいました。

2時46分に、サイレンが鳴りました。そのサイレンに合わせて黙祷をすることを、礼拝の進行の基本に据えました。そのために、最初に参加者の紹介を行い、また、前奏を長めをお願いするなどの工夫をしました。その試みは、とりあえず功を奏したようです。1分間の黙想をもって、みんなで心を合わせることができました。

「礼拝」というものは、聖書の言葉に耳を傾けるものです。ドイツのある教団が、もう300年以上、「くじ」で聖書箇所を引いて、それを「今日の聖書」として定めて冊子にする、という事を行っています。その冊子の日本への紹介を担っておられるのが、齋藤先生でした。そして「2023年3月11日」の聖書の箇所が、「祝福と呪い」を語る聖書の箇所でした。齋藤先生はそこから、被災地の惨事の中で「呪い」を語るキリスト者のいたことを想起しつつ、痛む者に寄り添い新しい祝福を語る神様の愛について、お話になりました。



写真上左より↑ ①追悼礼拝 ②齋藤篤牧師の説教 ③オンライン参加者

写真下左より↓ ①追悼礼拝 ②追悼の祈り ③青木会長あいさつ ④山田滋己ワイズ（神戸ポート） ⑤渋谷コメント（所沢）



礼拝の後、「感謝の会」を行いました。「震災絵本」として、原発事故の後に「母子避難」をした小学生の物語の読み聞かせが行われました。意義ある時となりました。

今年2月、石巻広域クラブのメンバーが、神戸ポートクラブを訪ねたばかりでした。そして、今回、神戸から5名の方が訪ねて来てくださいました。次は4月に、石巻から神戸へお訪ねします。そうして、交流が実質化して行く、その一歩にもなった、今年の「3.11」の日でした。（川上記）



↑ 3.11 みんなの文庫の会絵本読み聞かせ



↗ 「3. 11 追悼礼拝と感謝の会」に参加者一同

東日本大震災から12年

～復興事業を検証し、ノウハウの発信を～
監事 石田 信正

12年前のあの日(3.11)のことについては、すでにブリテン5号に「ノア方舟と3.11」と題して投稿しておりますが、このノア方舟が漂着したとされるアララト山はトルコの東部に位置しております。

そのトルコでこの2月に大地震が発生し、惨状が伝えられた季節が、丁度12年前と重なることでもあり、改めて地球は生きているということを実感させられました。

生きている地球です。地震や火山噴火が発生することは当然ですが、これらに対しては残念ながら為す術がありません。せいぜい身を守る構築物の整備や避難することしか対処方法がありません。そこで3.11対応として整備されたのが防潮堤・避難通路・避難タワー・高台移転等々でした。でも防潮堤ひとつを取り上げては賛否両輪があります。

私が住む渡波地区にも立派な防潮堤ができました。でもそこから200メートルも離れていない場所にも避難タワーができ、避難道路も新設されました。なにかチグハグ？

また牡鹿半島の各浜にも防潮堤ができ、高台には移転場所も確保されました。でも実際に住んでいる人は予想をはるかに下回ってしまった、というのが実態です。

今後予想される東海・南海地震等に対処するためにも、この12年間に為された各種事業を検証し、得られたノウハウ(善し悪し両面)を発信することが、多大な税金を頂戴した我々に課せられた責務ではないでしょうか。

天災を防ぐことには限界がありますが、人災(戦争・温暖化での災害等)は無くせませす。

命の大切さを再確認し、なにを為すべきかを再考する機会にしたいと思っております。



牡鹿半島防潮堤(渡波～長浜)

4月第一例会のご案内

日時：2023年4月28日(金)

18:30～20:30

場所：YMCA 石巻センター

内容：(1) ゲストスピーチ(選定中)
(2) クラブ7周年記念例会について
(3) 第26回東日本区大会(甲府)について
(4) 石巻と神戸を繋ぐチャリティーコンサート報告など

3.11 みんなの文庫の会報告 <第20回>

春の訪れが感じられる3月4日(土)・午後13時半より第20回目となる絵本の読み聞かせ会が、石巻センターで行われました。一般の参加者はなかったものの、今回も東京国立市の石丸リトミック教室の皆さんとオンラインで繋いで3.11関連の絵本の読み聞かせやリトミック体操、紙工作等を楽しみました。

絵本は①ぼくはいろいろ知っているよ②ふくしまからきた子③ふくしまからきた子 そつぎょうの3冊を披露しました。紙工作は色紙で作る紙箱作りでみんなで楽しみました。(長沼実行委員長)



次期クラブ会長・部役員ワークショップが日本YMCA 同盟御殿場東山荘で開かれ、青木次期会長が出席しました。詳細は次月号でご報告いたします。



佐藤重良東日本区理事・次期会長等76名が参加

理事メッセージ

2022-2023年度 東日本区理事
佐藤 重良 (甲府21)



TOFの献金が貢献しているプロジェクト

TOFは毎年2月を強調月間と定めて活動しています。活動の内容は「例会・集会等の食事を抜いたり、いつもより質素なものにして、その差額を献金」するものです。東

日本区では800名(2021年度)の会員から毎年793,000円(2022年6月決算より毎年ほぼ同じ金額)の献金がされています(1,000円/会員一人当たり)。その全額を国際協会(スイス本部)へ送金しています。本部では全世界から集まった献金を集計し、TOFの事業に割り当てます。毎年世界各地のクラブ・YMCAからのTOFの事業申請書を受けて、(今年は3月15日が締め切り)プロジェクトの内容と金額が国際議会で審議され、決定されます。2022年の承認のプロジェクト9件の決定がありました。9件の合計金額は117,777スイスフラン(約17,000,000円)となっております。東日本区の会員各位からの平均約1,000円の献金が、世界の貧困者の救済支援・子供の教育・女性の教育、ジェンダー運動など、いろいろなプロジェクトに活用されております。私達クラブ会員の一人一人が力を合わせ800人の大きな力となり、世界の困っている人々の役に立っているのです。ワイズの誇りです。これからも無駄を省き節約し献金を続けましょう。[注・過去3年間の承認プロジェクト(田中博之アジア太平洋地域TOF事業主任作成)を巻末に掲載致しました。]

ワイズメンの友情で、困っているクラブを支援しよう

現在東日本区のクラブ数は59クラブですが、最近になってクラブの解散の相談が3件あります。

その理由は、高齢化と病気療養のため等で、例会に出席出来ない。7、8人のクラブであるが、例会に出れるのは2人くらいで、例会にならない。クラブ役員の引き受けも出来ないので2年も会長・書記・会計等一人でやらざるを得ない状況にある等です。右の分析データをご覧ください。1クラブの平均年齢が70歳以上でクラブメンバーが10人以下のクラブはこの先高齢化がさらに進みますので、ますます厳しいものになってゆきます。

▶そこで今すぐに、各部内で困っているクラブの支援策を考えていただきたいと思えます。例えば、合同例会、行事の協働実施、クラブの合

併、クラブのブリテン・会計などの支援、EMCなどの支援等を、仲間の友情のために、ワイズ運動継続のためにみんなで知恵を出し存続を考えていただきたいです。

KOFU-KU かふふ・く



「あなたの置き忘れたものを、取りにきてください」



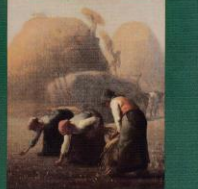
富士山とひなげし (山中湖 花の都公園)



武田稲女公卿像 (甲府駅前口)



(公財) 山梨 YMCA 新会館



ジャン・フランソワ・ミレー 《落ち穂拾い》、夏 山梨県立美術館所蔵

ワイズメンズクラブ国際協会東日本区

第26回東日本区大会

2023年6月3日(土)4日(日)

会場: APIO 甲府(山梨県・甲府エリア)

http://kofu21.com/taikai_26/

2023年6月3日・4日の両日、山梨県・甲府市で第26回東日本区大会が行われます。ホストクラブは甲府21。あずさ部の各クラブの支援を受けて開催されることになります。「かふふ・く」って何? 旧仮名遣いで、甲府=かふふと書きます。そして、この甲府に来ることで、甲府・来、つまり「幸福」になるという願いを込めたキャッチコピーです。因みに、サブタイトル、「あなたの置き忘れたものを、取りにきてください」とは、電車内に忘れた傘ではありません。毎年6月に人が集う時、そこには、笑顔と、勇気と、感動があります。どうぞ、取りにきてください。

記念講演 6月3日(土) 16:00~

石丸 謙二郎氏

石丸謙二郎の
山カフエ



書名 青年雑誌放送所編
1953年11月1日、大分県生まれ。血液型A型。
1978年 つかこうへい事務所所属「いつも心に太陽を」でデビュー
1987年6月より「世界の草花から」(テレビ朝日系)ナレーション担当(2016年5月2日に放送 10,000回を達成)
2018年4月より「石丸謙二郎の山カフエ」(NHKラジオ第一)マ스터担当
2019年4月より NHK大分県いどり OITA「石丸謙二郎のおいた彩発見」担当
2020年11月より 月刊山岳雑誌「登山」にてエッセイ「野郎を片手」掲載中

書簡:「山に登ってみなければ分からない」「蕎麦は食べてみなければ分からない」「台詞は覚えてみなければ分からない」いずれも散文集刊

わたしは、ワイズメンズのボランティアに対する考え方が、非常に自分の普段の考え方に近いものだと思います。普段頃から、こうすれば人は気持ちよく過ごせるだろうとか、他人の家の前までも掃除をしてくれるとか、してあげない気持ちばかりが浮かんできます。特に山や海で遊ぶことの多い私です。一人ではできない事ばかりです。そんな時、皆んなの手を借り、皆んなで何かをなし遂げる事に喜びを感じています。おそらく子どもの頃に、大分県の出会場で育ち、多くの人から、「してあげたい精神」を学んだのだと思います。その精神を少しでもお伝え出来ればと思っています。



登録お申込は

【お申込・お問合せは】
(株)YBS T&L 「ワイズメンズクラブ国際協会東日本区大会事務局」
〒400-8545 山梨県甲府市北口2-6-10 電話:055-231-3370 FAX:055-231-3377
営業時間 平日 9:00~17:00(土日・祝日休業)
メール:taikai@sannichi-ybs.co.jp 担当者:上野、日原、高橋

ホストクラブ

甲府21ワイズメンズクラブ

協カクラブ

甲府クラブ 松本クラブ 富士五湖クラブ

長野クラブ 甲府やまなみクラブ

*お申し込みは各人でやっていただきますが、ご不明な点は清水書記までお申し出ください。

今月の強調月間 CS グリーンプロジェクト ワイズメネット

地域奉仕・YMCAサービス事業

地域奉仕・YMCAサービス事業主任 小山久恵

3月は強調月間：CS(Community Service)、グリーンプロジェクト、ワイズメネットです。
まずはCSについてご案内します。

◇活動としてのCS(地域社会奉仕)

各クラブは区のCS資金の募金・運用活動に参加すると共に、関係YMCAと協力してその地域社会の求めに応える奉仕活動の実践を心がけましょう。従ってCSとは、大は地域社会の、小は近隣社会の隣人への奉仕活動であるといえます。

◇CS資金の募金・運用活動

お年玉付き年賀ハガキの当選切手シートを提出することにより集められて来ましたが、近年一人当たりの目標額が定められたことにより現金での提出が増えて来ます。東日本区の目標額は1,250円です。東日本区では主として日本YMCA同盟の申請に基づき支援し、部によっては部内各クラブのCS活動を支援するために、クラブから申請のあった事業内容を検討して、助成金を配分しています。

この2-3年はコロナ禍の影響で、多くのスポーツ大会やコンテスト等が中止となりました。そんな状況の中、コロナで困っている人々に目を向け、こども食堂などで支援を行うクラブが出てきました。また、戦場となったウクライナ、大地震の被害を受けたトルコ、シリアへの募金もよろしくお願ひします。

次にグリーンプロジェクトについて。

◇グリーンプロジェクト

ワイズメンズクラブ国際協会は、地球環境保護への取り組みを進め、カーボンニュートラル(活動に伴う温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させる)な組織となる

ことを決意しました。国際大会、地域大会参加者に、一定のカーボンニュートラル献金を求めたり、YMCAの様々なプロジェクトを支援してきました。このプロジェクトの例として、ワイズ・アジア太平洋地域の支援によるフィリピン・マカティYMCAの太陽光発電システムの設置が挙げられます。

ワイズ運動その他に関わる二酸化炭素排出削減のプロジェクトに関して、最大5,000スイスフランの援助を国際協会から得ることができます。支援申請の締め切りは3月15日です。

田中博之さん(東京多摩みなみ)の文章を引用させていただきました。

ワイズメネット会とは？

ワイズメネット委員会委員長 松村仁子

「ワイズメネットってなんでしょう？」

○ワイズメンズクラブ男性会員のパートナー(夫人)のことです。

「どんな役割があるのでしょうか？」

○第一はワイズメンの活動に協力することです。

○私の夫の所属する甲府21はワイズメネット会を設けています。しかしながら今コロナ禍でYMCAやワイズメンズクラブの種々のプログラムが実行されていません。ワイズメネット会も休止しています。ワイズメネットについてもっとオリエンテーションの機会を作り新しく入会されたメンのパートナーの方々にも協力していただけることを願っています。

○また、ワイズメネットはクラブだけでなく東日本区という大きな組織の一員でもあります。東日本区の中にあるワイズメネット委員会(現委員長 松村仁子)が企画する国際、国内プロジェクトへの協力、推進を行っています。再び楽しい活動が始められることを祈りつつ待ちましょう。

東日本区 書記からのお知らせ

1【臨時常任役員会報告】

2月12日(月)19時から20時15分、Zoomによるオンライン会議で臨時常任役員会が実施されました。出席者は7名。協議はクラブ解散申し出、トルコ・シリア地震災害、YES支援金規定、次期クラブ会長・部役員研修、第3回役員会開催等

2【2月常任役員会報告】

2月27日(月)19時から21時、Zoomによるオンライン会議で実施。出席者は常任役員5名、監事2名、理事からの出席要請者9名。
主な協議事項はCS/Yサ-AASF資金運用規定の改定、資金支援申請、LT委員長再任、トルコ・シリア緊急災害募金、第3回役員会、第26回区大会等

3【年次代議員会告示】

東日本区理事 佐藤 重良

2022-2023年度の年次代議員会は、第26回東日本区大会に合わせ2023年6月3日(土)午前11時00分から対面方式で開催されることを、東日本区定款第6条第7項に基づき公告いたします。

代議員会は東日本区における最高立法機関ですので、すべてのクラブ会長、部選出代議員および人数割り代議員は必ずご出席ください。なお、クラブまたは部が議案

東日本区書記 清藤城宏

を提出する場合は、東日本区定款第6条第8項の定めにより4月8日(土)までに議案提案書を東日本区理事(東日本区事務所)にご送付ください。「議案提案書」用紙は、東日本区ウェブサイトからダウンロードしてください。

4【ブースター賞の申請】

目的:ブースター賞は、会員増強を奨励するため、個人とクラブに授与されます。

○ブースターメンバー(個人)賞は、1年間に3人以上のクラブの新会員を増やしたクラブ会員に与えられます。

○ブースタークラブ賞は、1年間に6人以上のクラブ新会員を純増させたクラブに与えられます。
表彰対象期間は、昨年の2月1日から今年の2月1日までです。

▼両賞とも各クラブでの申請の必要はありません。
不明の点は、東日本区事務所にお問い合わせください

5【訃報】 私たちは、先遣を覚え、歩みを止めないことを誓います。

○石丸隆幸さん(千葉)

'23年2月21日逝去 享年 53